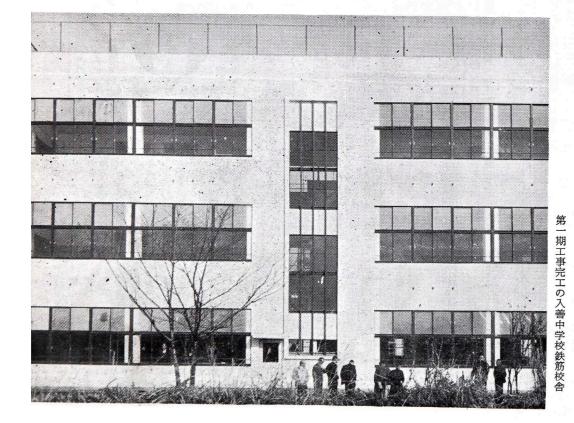


	昭和37年2月 No.74	18.1
	発 行 富山県 入善町役場	
	(電話入善局 301-305番)	N. C. W.
	編集発行責任者 寺 崎 清 作	184
	印刷所 田中印刷所 定価一部5円	ALL ALL
×	昭和32年5月22日第3種郵便物認可	S

おもな内容 議会報告 2頁 小児マヒ生ワクチン投与 20 町民税の申告制 30 国民年金のはなし 30 産米改良対策 40 農技協会計画 50 児童扶養手当 60 入善町風土記 70 スポーツ振興法 80



第三種郵便物認可 (2)

再び町議会議長に選ばれ、職責

完全与野党として町政のため大町民の代表である全議員の意思

▽寄附採納の件

本築炉工業株式会社と随契) 契約締結の件(三五万円日で

花だん用ブロック(価格一万

さきごろの初議会において、

の重大さを痛感しております。

入口は行在対投ぐ	よい国鶴	∇ ∇		~	第三種郵便物認可
入◆日せ行年対投ぐ 善時いな生象をからして、 ○日、 ○	さ 以 国 種 を ツ 半 そ と ソ ー と ソ ー と ソ ー と ソ ー と ソ			≧議費 64 36年度予算 段場費 1,369	議会運営について 月 を二
中央公民舘(一般) 中央公民舘(一般) 日午后一時 と三時 日午后一時 と三時 として のお子様を対象として のお子様の の の お子様の の た の の た 子 の で 生 ワクチンの 一 般	小児まひを徹底向こ防児まひを徹底向こ防できました。		研磨盤、横原盤、 が が が が の の の の の の の の の の の の の	前防費 154 ∇ 第 累 19 56 2 第 2 大費 19 56 2 計 大費 237 年 0 計 計 計 計 数常費 237 年 0 計 義会 2 計 3,870 加 計 3,870 加 型 計 3,870 加 型 計 2 (意 1 1 2 (意 1 1 2 (意 1 1 2 (意 1 1 2 (意 1 1 1 2 (意 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ACT た。しかし所属する政党 た。しかし所属する政党 た。しかし所属する政党 た。しかし所属する政党 た。しかし所属する政党 た。しかし所属する政党 た。しかし所属する政党
野舟見園 野月見 一 野 市 地 図 田 九 日 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二			▽同工事請負契約 ▽同工事請負契約 ▽同工事請負契約 ○同工事請負契約 ○同工事請負契約 ○同工事請負契約 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 同工事請負契約 ○ ○ ○ 同工事請負契約 ○ ○ ○ 同工事請負契約 ○ </td <td>又 千 会富山 契約 約 約 約 約 第 月 一 一 代 一 三 三 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 二 の 一 の 二 の 一 の 一</td> <td>と 運 優 し よ 会 で 寄 市 よ よ の の 器 設 に よ 会 の で 器 し よ の の お 品 じ 下 お の で お の で お の で お の で い に 合 の で 新 の で い に 会 の で 新 の で い た ら の の 寄 形 の で い に う の で あ い た う の で あ い た う の で あ い た う の で あ い た う の で あ で い た う の で あ い た う の で あ い た う の で か い た う の で か い た う の で か い た う の で か い た う の の い た う の の い た う の の い た う の の い い た う の の い い た う の い い い た う の の い い た う の い い い い い い い い い い い い い</td>	又 千 会富山 契約 約 約 約 約 第 月 一 一 代 一 三 三 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 二 の 一 の 二 の 一 の 一	と 運 優 し よ 会 で 寄 市 よ よ の の 器 設 に よ 会 の で 器 し よ の の お 品 じ 下 お の で お の で お の で お の で い に 合 の で 新 の で い に 会 の で 新 の で い た ら の の 寄 形 の で い に う の で あ い た う の で あ い た う の で あ い た う の で あ い た う の で あ で い た う の で あ い た う の で あ い た う の で か い た う の で か い た う の で か い た う の で か い た う の の い た う の の い た う の の い た う の の い い た う の の い い た う の い い い た う の の い い た う の い い い い い い い い い い い い い
生 ポリ 本 后 一時 一時 一時 一時 一時 一時 一時 一時 一時 一時	新屋小学校 小摺戸小学校 育木小学校 (学童)		 □ 日子 見名式 (1) □ 日子 見名式 (1) □ 日子 見名式 (1) □ 日子 見名式 (1) □ 日子 (1)	万円の大台に (刑山用水護岸H事 ©10九 (刑山用水護岸H事 ©10九 (刑山用水護岸H事 ©10九	と念願しており最善の途を行きたい これのです。 です。 です。 です。 です。 です。 です。 です。 です。 です。
 チンの希望投身 第熱や下痢等がある急性の 気にかかっているとき 病気にかかっているとき 病後で衰弱しているとき 病後で衰弱しているとき 	具合の惡いことがあります。 ・・のむときの注意・・・ 一ぎのようなお子様はのむと 横山地区 横山小学校	● 公 佐磯	 ○ 諸会議長の送着の件 ○ 諸会議長の一部改正の件 ○ 議会常任委員会委員部・上今江 ○ 認 西尾 三郎・上今江 ○ 該会常任委員会会を8名にの件 ○ 該会常任委員会会を8名にの件 ○ 該合議長選挙の件 	 義式後長の 第1回町 型自動 (中型自動 (上原小学 (上原小学 	 四千円) 声崎 岡島松次郎 ・8ミリ撮影機(三七千円) ・中央公民舘用演台 1組(1) ・ツニーテープコーダー 1台 人体解剖模型、鉄棒一式 小屋(一七五千円) ・自転車小屋(一七五千円) 上青中学校後援会

西島三郎 委員長 産業建設委員会(10名) 沢太一 委員 副 笹原竹松 谷雪枝 小堀吉郎 三賀しさい・舟見 野島正一・舟見 上野幸一 金

田久之 吉 松田幸与作 委員 副 福沢忠命 大田元長 広田久 大角正次 車 中易清 米沢政虎 憲一・吉原 嶋

▽臨時出納検査立会議員選挙 照 笹原竹松 中易清 柚木春雄 佐藤光

▽富山都市計画地方審議会委員 ▽監査委員選任 選挙 金沢太一 上野幸一 大田元長 嶋田久之 広田久吉

▽工場誘致委員会委員選任 ▽助役選任に関し同意の件 三賀しさい 宝田吉松 谷雪枝 岩田磯吉 福沢忠命

再選 清田清一·芦崎

▽町道道下縦線一部改良工事 ▽県東部衛生処理組合議員選 第3回町議会臨時会(1・26) 挙 岩田 磯吉 長島啓太郎

▽県農業信用基金協会加入の件 (六〇万円で広川建設と契約) (出資額四九万円) 請負契約締結に関する件

▽入善小学校給食室改築方請願 ▽固定資産評価審査委員選任の ▽財政調整積立金の使用の件 件 (電電債券五二万円買入れ) 同意 水野徳太郎•下山

5 るとき その外医師が不適当と認め

P

T A 会長

田中正男

6

種痘を受けたあと二週間た

すここま た後とくに入浴をやめたり、食 がでのんでいただきます。のん ださい。 ば、すみやかに医師にご相談く が何か具合の惡いことでもあれ事に注意する必要はありません しますから、 なお投与会場で、 い。今回の生ワクチンは、 っていないとき よく相談して下さ 医師が予診を お子

料金は一人につき八円です。

(副 青木地区 舟見 (副 青木地区 1 (副 会長 1 2 (副 会長 5 5 2 (副 会長 5 5 2 7 (副 会長 1 1 0 朝 1 (公長 5 1 1 0 1 1 0 1 (以上 2 1 1 1 0 1 1 0 1	◆国民年金印紙 ◆国民年金印紙 本 本 を 考えでなく 本 の 口座から納付書、 の になっている た め 大 法でなく 本 の に なっている た の た の ち た た の れ て い る た め ち ん に な っ て い る た が 歌 記 ら れ れ に な っ て い る だ が 、 役 場 へ 持 会 し た り す る ら 的 れ て い た め ち 約 た ら す れ の 、 の 長 し た り す る し の た の ち 病 約 の ち た の ち ん 約 の ち ん の し た り す る し の た の ち 点 が で い た り す る た い ち ん の ら ち れ て い る た め ち ら れ て い る た め ち た め ち ら れ て い る た め ち ら れ て い る た め ち し た り す る た め ち の ち 、 の 、 の 、 の ち 、 の ら う れ て い ち た め ち の た め ち の ち た め ち の ち た め ち ち の ち た め ち ら う た し た ち ち の た し た か ち ち か ら う た し た ち う た し た ち ち た か ら う た し ち ち た や ち う た の ち ち ち ち ち っ て た し ち ち ち ち ち ち ち ち た ち ち ち ち ち た ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち	ま れ一 し、回先 ◆ じ厚 国 例以支恩 た百国日 国 2年 民 軍人 会 大年町 民 通年 委九年中 年 第金 年 恩年 る金央 金 制 そ 恩年	す給金る ま一保ま受三恩ります年年 。とをこませ事険で給十給戦た。金金 そ国かとたん故料は権七の地、に制 の民けに、がを強を年受加恩加度 金金いっ人生約制取十給算給 る金いっ人生約加得一権が法す創
御野 横山 新屋 御野 山地 皮 御野 地地 皮 御野 地地 皮 市地 皮 市 夏野 市 市 市 レ ア 市 市 市 市 レ 町 市 市 市 市 日 中 市 市 市 市 日 日 市 日 日 市 日 日 市 日 日 市 日 日 市 日 日 市 日 日 市 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	まの」す催旬刷に 意のが て	中告書の提出期限は再任 中告書の提出期限は再任 なる三月十五日との関連 たと国民年金の保険料を と国民年金の保険料を と国民年金の保険料を と国民年金の保険料を と国民年金の保険料を	 な 単 年ん、なら長現十にて 年ん、なら長現 日住 よしま よしま での ない よしま でで て よし たで にに に に
	は	ルーより 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	

(3) 昭和37年2月10日発行

る例も多いことです。 病気にかかっているのを見つけ よう。 元気ですか。 られていた家畜も多いことでし 指道 安定と合理化に連なる施肥法と 晚生 中生 早生 はその目標を0%におきます。 は目標の30%を達成したが本年 1 添い綜合的に強力推進します。 を図る等、 対策および生産コストの引下げ 町産米改良対策本部に於ても次 みならず最近における農村労力 することになりました。 の推進事項を定めて運動を実施 今年も引続き推進することとし て展開してきた産米改良運動を昨年から県下の一大運動とし (暫定品種) (準奨励品種) (獎励品種) 新優、 農家の皆さん、 長い冬の間、 品種と土壌条件を考慮して、 新木2号、 奨励品種の作付面積は、 なお本年度は米の品質向上の 施肥の合理化 品種の統 黒部1号、 新大正糯 7 ホウネンワセ、 シロガネ、 ンリヨウ 米作りコス 農業基本法の主旨に 春になって初めて クサ 畜舎に閉じこめ Э お宅の家畜は プ 1 新6号 I 山陰17号 モヒカリ 特に骨軟 越路早生 昨年 H 光浴の励行 * * ります。 す。 8 1 6 注意し、 5 3 4 土壤条件、

り色沢、 く乾燥するものとし、 15%となるよう、徐々にむらな仕上り籾の水分は玄米で14~ ので適期刈取を指導する。 をおこしたりするおそれがある まで胴割米を生じたり、 水時期を早めないよう特に指導 刈り遅れると米質がもろくな 乾燥 刈り遅れ防止 食味が落ち、 立毛のま 穂発芽

経験乾燥日数で決めないで、天 の候にそう遇するので、過去の 特に早生栽培では登熟期が残暑 を生じないように注意する。 過ぎや急激なる乾燥により胴割 特に乾き

乾燥にならないよう注意する。 候、温度、湿度等を考慮して過 脱穀、 調整

樹

を 伐

採

ま

L

よ

Ĵ

損傷粒や砕米、 米選機の適正使用等に はだずれ等に

よって等級の向上を図る。 包装

い出荷率の低い地域に対し

推進 全量
いとなるよう
昨年
産米の 共同乾燥調整施設の普及。

早く発見することが難し しいので

なる病気で、 い畜舎にいてわらや米ぬかばか この病気は字の通り骨が軟く り食べてい 特に冬の間日当りの悪 牛や馬が多くかか たような家畜に

顎が腫れ、 起りやす すみに骨折を起します。 ッコ」をひき、 この病気の予防は飼料の 病気が重くなると、 いものです 関節が痛み「ビ 一寸したは 顔や

日光浴などが必要なのです 与え方、 の補給および適当な運動、 一方昨年種付けをして分 特にカルシユウム

5 ウムを必要としますので、これ にふだんよりも多く うな家畜は、 を含んで 娩の時期が近づいているよ いるほし草などを多 胎児の発育のため のカル シュ

症という病気はその進み方がゆ

くりしているために、

発病を

頃の心がけが必要です。 ませんし、 の与え方、 るためにも、 くる子どもには良いものは望め く与えるようにしましよう。 栄養の不良な家畜から生れ 運動、手入れなど日 母畜が完全に分娩す ふだんからの飼料 T

したりします。 もっている毒素から中毒をおこ の働きをこわしたり、 ますと、栄養がおとろえ、 虫があります。 て関心がうすかったものに寄牛 次に今まで、 寄生虫にかかり その被害に比べ 寄生虫の 臓器

るようにしましよう。 換気を良くし、 いことですが、 寄生虫の駆除はなかなか難し 畜舎は日当り なるべく乾燥す Ł

努めましよう。 発酵腐熟させて使用するように また、 糞尿はたい肥舎でよく

> ださい。 冬は率先して蔭樹を伐採してく 害をよくお考えになって、こ 増産に直接影響する蔭樹の被 0

新式電話交換機が され ま L た

保、 財政、 は、 室、税務課2、総務課(庶務、 町長室、助役、 ある箇所は、次のとおりです。 換機が入りました。この交換機 のまま使用できます。 が交換できます。また将来、 サービスをねらって、 イヤル式自動電話になってもそ しく二〇回線無紐共電式構内交 この 甲乙それぞれ二〇個の電話 年金)建設課2、 戸籍) 民生課 ほど、 事務合理化と住民 収入役、 (厚生、 電話機の 産業課2 役場に新 収入役 7 玉

時間外電話の呼出し

局、

会議室、

議員控室、

計 21

教育長、教委事務局、

議会事務

(昼食時の正午~午后1時(午后5時~翌朝8時30分) 1時

直通305番… 304番… 303番…… 134番……産業課 302番…… 301番……… 議会事務局 教委・公民館 …総務課長 ……宿直室 (分室) (階上) ·建設課 冬

期の間に行いましよう。 増産のガン蔭樹の伐採は、 原始農業の

田の畔の蔭樹は、

配備

遺物とまで云われております。

ます。

さきに増産の一策として町一

成果を収めましたが、その後放円の蔭樹の伐採を実施してその 任されている傾向が見受けられ

陰

天候等を加味し落 (俵)

		and the second second						
X	分	総 数	1 等	2 等	3 等	4 等	5 等	上級
즈	善	_20.720	101	4.061	7.840	6.356	2.362	20.1
Ŀ	原		496	11 598	10.951	4.812	187	43.1
青	木		103	7.189	8.966	4.724	74	34.6
	野	33.003	185	8.710	12.035	9.582	2.491	27.0
小	摺戸	23.884	257	8.590	7.075	5.918	2.044	37.0
新	屋		728	11.378	15.312	6.548	279	35.4
椚	111	24.455	81	6.408	8.632	8.726	608	26.5
	<u>山</u>	16.118	117	4.273	6.827	4.585	316	27.2
舟	見	10.346	132	2.241	4.791	1.999	1.183	22.9
野	中	11.841	42	2,443	5.196	3.513	647	21.0
	計	223.712	2.242	66.891	87.625	56.763	10.191	30.9
35	年産	211.947	9.655	73.921	115.158	12.966	247	39.4
県	35年	193.279	4.394	58.409	96,292	31.968	2.216	
	36年	203.152	1.283	28.355	and the second sec		22 720	

県の単位は精米換算屯 5等に等外規格外含む

昭和36年產米出荷状況

第三種郵便物認可 (4)

ことしの産米改良対策

ŀ

0

引

下

げ

(5) 昭和37年2月10日発行				
	は畑、電熱(五月十日55日苗) 温床紙(五月十日55日苗) 耕土の培養 耕土培養資材の施用 那 料 加施肥設計。穂肥と減分肥の適 量化(4.4%)と 本田基肥≥の 遺化(4.4%)と 本田基肥≥の 遺化(4.4%)と 本田基肥≥ の計画化。 品種 別施肥設計。穂肥と減分肥の適		一 作 能 吉 し 円 業 き は 取 足 に た ち 。 ち に た 。 り と 、 こ く れ の 、 の よ の 、 の ち の た た の 、 の ち の た の 、 の う た の 、 の う む た の 、 の う む た の 、 の う む た の 、 の う で の う で の う で の う で の う で の う で の う で の う で の う で の う で の う で の う の う で の う の う で の う の の の の の う の の の の の の の の の の の の の	一、畜産の主産也の一、畜産の主産也の一、適地の球根栽培の一、水稲優良品種の統
このことを忘り無断転用をし ている場合は、農地法の規定に よって処罰されることがありま すからご注意ねがいます。 る方、今後転用されることがありま なく許可を受けてください。 また、詳細は農業委員会にお 問い合せください。	協会部山の 一家 「 「 」 」 「 」 」 、 」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	割究 割	に古 通過潅型確過 b がばい病水度排一保剰本	中世代
C大漁祈顧祭	(共同畑苗代の設置状況) (共同畑苗代の設置状況) (共同畑苗代の設置状況)		■ 読業円芸 ■ 読業円芸 ● 単一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	球根の研究。 一円 芸 部 会
C 北祥独航船上での憩い)	のの予防。豚の蛔虫駆虫。肝蛭のの予防。豚の蛔虫駆虫。 調査の予防接種。 駆虫。鶏痘の予防接種。 しながら終了いたしました。 優良船員表彰者次のとおり 「船員」称下久太郎(機関長) 佐藤伝作 西島良吉 井田久次 (船員) 森下久太郎(機関長) 大野幸蔵(通信士) 横田重信	(K)の普及徹底。蓄殖障 本ルモン措置。 の普及徹底。蓄殖障 と 生 生 の 音及徹底。 下 階 で の 音及徹底。 音 不 の 半 研 の 長 一 一 の 子 の で の 子 の で の 子 の で の 子 の で の 子 の で の 子 の で の 子 の で の の の で の で の の の の の で の の の の の の の の で の の で の の の で の の の の の の の の の の の の の		 部せ草跡 のプ指のの ディック ディック

第三種郵便物認可 (6)

的と 警告する人があります。それは えられるのが普通であるが、実 して、 れ 和愛好者的性格であっ 上げることもできるわけです。 法、 つのがあたりまえですが、 たが 方が す る たその学者は、 ておられる学者です。そしてま 海の向うの発達心理学を勉強し にかなり影響する。 は学令前の経験が青年期のそれ めて問題に 愛児のペえじ いうことは青年期に ました。 1 6 5 4 3 2 ①は の者で次に該当する児童の母又 あって国内に住所を有する児童 ことのできる者は、日本国民で 月臨時国会で議決され成立をみ であります。 とき を憶病だからたと思い違い P が る児童 一男らしさ女らし 童 されている児童 養育者に対して支給されます この児童とは義務教育終了前 児童扶養手当の支給を受ける 児童扶養手当法は、 程度)にある児童 17 (母子) し貴 感じ方などをするように仕いわれる行動の仕方、思考 5 2 61 変が その他政令で定める者の児 **父から引続き一年以上遺棄** 父が廃疾の状態(障害 父が死亡した児童 父母が婚姻を解消し もっとタフで騒ぎまわる われる行動の仕方、 て男の子は男性として育り混っているのです。し 実は初めのうちはその両 っ から男女の区別はありま ある」といっています。 0 う幼児期に、 定的な影響を与えるとい の個性を尊重することで 子供は、 は、この小さな子供達 て最も大事なことの一 方の坊やが、 一年以上拘禁され なることのように考 男 「後々までに決 5 もちろん生れ 」といって 入 25 静かな平 L ても、 2 昨年の十 などと てはじ た児童 さ 女性 T ----を そ 級 61 に見えますが、後者の「靴を取親の支えをほしがっているよう見かけはたしかに両方とも母 いるヮョ』と誘いかたまわり、『ホラスかんで何か話しかけ 男の本質ではないの 子供 女 ります。 供がいます。 ま た _ ヤ 3 2 1 で 0 供として分類して を同じように、 V 私たちは、よく依頼心が強いと らおうとする子供があります。 T ******************************* んで何 τ..... が す いますが、これらの子供たち 』とことごとに母親にしても すます母親にま 母親 を獲得してゆくからです。 子供は自分の方法で「らしさ きは十三万円に、その兒童 いて、 が れ 厚生年金、 また『帽子とって』 ンチャ坊主にしようなどとし る場合及び公的施設に収容さ は支給されない。 児童が里親に預けられて 増すごとに三万円を加算 前年の十二月三十 児童の監護又は養育する者 T 支 を溺愛というか盲育と から母親や父親の理解で、 って子供たちの いけません。こんな性質は 5 母と子の家庭の・・・・ 公的年金を受けて 1777 0) 給 -----いる場合は支給されな 兒童を養育していた ċ. ス ł ・・・・幸せを願って Ø の方は、 カ 1 U 依 『ホラみんな遊んで 制 退職年金等) しかけられると後 2---している場合があ 限 ト をし のです。 つわりつく子 かけてみても 習慣の (国民年金 -一 日 に いる場合 2 『靴出し か 児童扶養手当制度の発足 問 りつ 6. 賴 2 to ******************************* 5 題 Vi 5 だったね』と子供のかわりに代 必ずとよいほど親が『これこれ 『坊やいくつ』と聞かれた時に そこで前の母親のスカートに 厚生係 ます。 れます。 せく 増加するごとに二〇〇円加児童二人以上の場合は、 加算して一、 続きをしてください。 が支給されます。 *k*° (4) っては、 態 子ども、 ことは自分でさせるように自然 か せるようにすれば良いでしよう を子供に見せながら自然に学ば 母親が息子をどう扱って 母親や娘をどう扱 てしもう根強さを持って こか依頼心の見える性格にな もになり将来大人になってもど るようになり、 りに 積りつもって、 有難たいことなのです。 弁してやる家庭があります に治ってくるでしよう。 っと子ども自身で出来る範囲 よっ も以上のようにして子供自身に アキた「個性の尊重と その他くわしいことは民生課 兒童二人の場合は、 児童一人の場合月額八〇〇円 該当者は至急役場民生課で手 円以上の場合は支給されませ を同じくしその所得が五十万 た額以上に所得を有する場合 の扶養義務者がその母と生計 は支給されません。 つまり、 このようなことは子どもにと 、ださ 母に対する手当は、 支 を認めなが そうした愛し方でなく、 て実現されてゆく やってくれるものだと考え 給 (坂東主事)までお問合 もって、何でも親が代わいことなのです。これが、答えずに済むのです。 い 手 発言力の全くない子ど ۰. 心 経験学習です。 当 二〇〇円支給され 額 ついにはズルイ ら家庭で父親 って 、ので いう言葉 5 加算さ その母 るか、 いるか 5 一人 ます 聞き 0 す。 4 か 2 0

んでそのことを警察へお知らせよそから話を聞いたときには進容を知っておられたり、または このってまいりましたから、被して遠くへ早く逃げることが多して遠くへ早く逃げることが多し、一刻も早く警察へ知らせる あわてることなく現場への出入ているくらい重要なのですからでいるくらい重要なのですからの 「現場保存のよしあしが事 りましよう。解してやる努力を払う必要があいとしてやる努力を払う必要求を理 1 きは、 す うであった 見た人であれば、 願い 有線放送、自動車などを利 害にかかったことを発見したと りをやめて、 べての事件捜査にあたって民間みで解決できるものでなく、す問わず、警察だけの捜査活動の間わず、 が、こうした母親に案外スカー親がふえているように思います むし んでそのことを警察へお知ら て警察署に知らせる。 け出てください。 まにして、 かかったときは、 れております。 の皆さんのご協力を得て行な ~ みで解決できるも 問 た 一生を決める大変重要な問 この依頼心の問題はその子供 しいことがたくさんあります には、親としていろいろと難 っているようです。 知識と経験が分離したままの という公式を思い出しますが 供 子供が立派な成人になるた 次に犯人を見たり、 から、 まず身近な問題として被害に 5 近頃育児知識が豊富にな 、ういたと思い出しますが、の発散的な要求を無視するよ その処置の仕方として、 捜査 を ます。 犯人または犯人らしい人を \$ ろその反対にもっと子ども お ので 一刻も早く付近の電話 願 に お互に気を配っ 例えば、 カン 一刻も早く警察 対する す。 現場をそのままに い 顔や体に何 l **顔や体に何か思** 入 例えば、 善警 ます 現場はそのま ご協 事件 察署 て の内 用 題 ~ 力 5 2 7 届 L P わ × で のがかめ 育 母て

(7)昭和37年2月10日発行

定し

てから東の方での土 然るに黒部 米位は沖にあっ

が現在

~

西

へと移行

i

で

ある。

て之等の残っ

新し

い砂丘である事を示すも

0

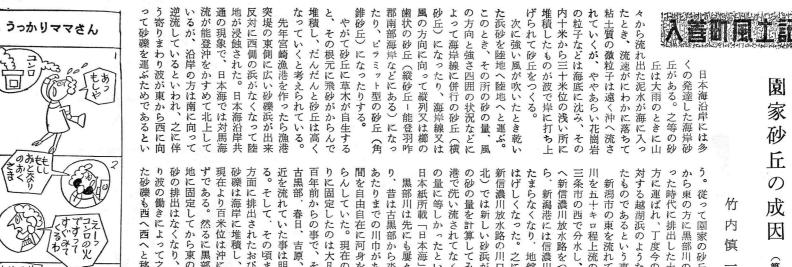
よりまわ

がめ類が出たとかい

土器、

骨

め類が出たとかいわれるが



近を流れ の量に等 新信濃川 はげしく 方面に排出 らんしていた。現在の地点あた から東 百年前からの事で、それ以前りに固定したのは大凡そ三、 あたりまでの川巾があり、 日本紙所載「日本海」(2) の砂の量を計算してみたら新潟 北)では新しい砂浜が たまらなくなり、 へ新信濃川放水路をつくっ 三条市の西で分水し、 たものであると 対する越湖浜のような形で出来 方に運ばれ を五 た時代 を自由自在に河身を変え、 、昔は古黒部から沓掛、生地黒部川は先にも屢々述べた通 ゲムキャロ程上流の西浦原郡 新潟市の東を流れてい そして、 従 い流されてなくなった砂 の方に黒部川 2 ていた事 じかっ て園家の 春日、吉原、 放水路の川口(寺泊の に されたおびただし 排出 その頃までにこの 丁度今の黒部川に たという。 いう事が出来る した土砂が西 い明 砂 それ以前は 0 F たあったは ひただしい 神子沢附 うらかであ かでき、 そ 主流 は、 た信濃 その 園 力 北 氾 0 家 あ

成

天

(第

80

竹

内

慎

郎

方 境土 あ

か

端、堂取場から砂の下に田の畦端、堂取場から砂の下に田の畦がげを残すもので、砂丘の南し鴨の群游地となる事は昔のおく期には砂丘の両側が潟状を呈 て芦崎砂丘と分裂した。今でも呈し、西側は平曽川で両断され東側がけずり取られて断丘状を来、更に黒部川の氾濫によって 侵蝕)之等の潟がうまって出来る。(奥田新作氏入善町海岸のて潟湖であったものと推定され る。臭気があり、ネバと呼んでど、その下に黒色の粘土層があ三米、その下は砂礫層が十米ほ広がっている。層の厚さは二~ ン)の層があって海岸近くまでから三米下に灰黒色の心土(バから三米下に灰黒色の心土(バ島る。 堀抜 業者 伊野氏の 話に國家部落には堀抜井戸が沢山 いわれ(大田弘氏説)れた三角洲(デルタ) るが、本町学致用調次に園家海岸の風の る。 た低湿等の上に拡大な砂丘が出 の砂丘内側の湿田地帯は、 部川扇状地の外側に新しく生ま る。園家山の松の枝ぶりはこの海風の六八%は北~西の風であ 向頻度 家芦崎附近に堆積 いるという。 風の方向を示している。この風 ら陸へ吹くものが七五%、 家砂丘は出来たのである。 へ陸へと運ばれた。こうして園によって海岸に堆積した砂は陸 」によると入善し 園家、 われ(大田弘氏説) 所載の森群平氏稿「自然環 (秒速六米以上) 本町学教研編 芦崎、 生地の一帯は黒 L 生地の風の の問題で た 「わが であると ٢ は海 0 その 力 地 郷

る方々に特に犯罪捜査へのご協の平素お客さんを扱っておられ旅舘、映画舘、質屋、飲食店等 した実例もあります。 いう届出から事件が一挙に解決 い、市本のタオルを拾ったと 要は、 の方、新聞やお勤めの方、 解ある住民のみなさん方の協力たことは、これは全く捜査に理ーケ月後に宮城県下で検挙し得 早く犯人を指名手配においこみ 絶大なるご協力によって、いちついて見ましても、当時市民のた銀行ビストル強盗事件の例に たり、 によるたまものであり ないとい くては事件解決の万全は期し得要は、住民の皆さんの協力がな 力をお願いします。 6 (5) 去ったのか かどうかな、 いち早く警察へお知らせくださ所の近くで発見された品物は、 たとえどんな小さなことがらで④ 事件のことについての話は 3 自 2 きもの 0 りの警察に知らせてほし もよいのですからすぐに、 まのこと、 員に聞かれたときに なかったかなどについ 罪現場で犯人は何をして Y りのまま話してください。 5 昨年八 なおさらに、 以上は警察から事件捜査のと ち早く警察へお知らせくださ 転車のナン は何 時 あたる特徴はなか どうかなど。 また職業上、 また、 犯人を見た人に 犯人の乗っ にみた上衣やシ めの方、会社、工場の通勤多い方、例えば交通機関に、犯罪の発生を発見する機 住民の皆さんの協力が 新聞や牛乳配達の方々 色であ は何であったか 月富山市で発生し うことです。 犯罪の行なわれた場 知っ 1 手に何 連れは バー どこの方向 0 『事件 たか、 て ていることをあ · .. 犯人に出会っ 車体の色は 、 か持 は、 + 5 2 ます。 解決は住 て、 0 7 た 5 帽子 見たっていていていていていていている。 p. 5 まし 0 もよ p. ズ ` • はポモ

2 方



明るい

社会の建設に進み しをスロ

1

ガン

Ł

す。

第三種郵便物認可 (8)

しつつ、 ければ は次に掲げるような事項を積極 しています。 興の基本的 定しています。 諸条件の整備につとめな てス 自主的にその適性に応じ にあたって、 ポ は国や地方公共団 れ に議員立法の形で提出さ Ľ ひ ッ C Ļ の飛躍的な発展を図るな 寄与することを目 明るく豊かな国民生活の形成に に関する施策の基本を明ら 梅 120 (1)庭園樹 また、 かえ、 その具体措置として、 1 その施策の方針として ク東京大会を三年後に います。 2 成立 (小果樹 この ボ ッ振興策を実施する 国民 の法律は、 苗木即売 吉野桜 案内 . 45 会 1 ポ ならない 富有 60 中的計画を定める . すべての国民が 青少年ス の心身 ッができるよう 1 をみました。 ほど三八 牡丹桜 55 次郎 60 ッ活動に協力 特にオリンピ ス 即売期日 3月31日~4月1日 黒 松 130 国民の自発 平核無 55 五葉松 ことを規 0 70 即売場所 入 舊 町 中央公民舘 前 ス ポ 70 体がス 、回国会 ポーツ 新世紀 的 健 ポ ヒマラヤ 下新川郡林業普及協会 とし 主 全な発達と 80 1 菊水 シーダ 200 るこ ポ 7 入 1 薯 町 国や町 70 長十郎 1 0 貝塚伊吹 100 い振興 とに ッ 和4000天从内大会 減リレー出象地 布目早生 80 180 玉伊吹 振 ツ 80 倉方早生 ちやぼひば 90 * 1 振 玉 光 30 2 くぢやくひば90 1 図ります。 的に推進してスポ く住民の参加を図る。 教室等の行事を開催し、 成 はスポー 土曜日) スターキング30 日光ひば 30 国民体育大会 を図る。 スポー 興 旭 30 45 赤南天 いちぢく 35 50 白南天 法 ツテスト ッの日 を定めその行事の助 35 ドーフィ 2 野村かえで 100 キヤンベル 45 . 唐宗呂 100 • 1 (十月の第 . やス ナイヤグ 45 運動会また ラ っげ 100 ッの推進を ざくろ 40 糸ひば 75 ポ 樹種および見込売価(円)次のとおり 金かん ひろ 1 60 100 サンゴ樹 ッ ____ 120 夏みかん 60 金征木 (中)花木 さつき 60 ゆず 100 50 銀征木 申し 審議会の設立に努力することを 同協議会を開き町スポ 会理事と社会体育指導員との合 3 寒 椿 会ではこの二月六日に町体育協 6 5 4 105 きり島 70 2 あります。 を広く実地普及させる必要が 活の形成に大い 法の大要であ 補助をすることも規定されて 65 みかん 120 の健康の増進や明朗な国民生 5 る対策の推進に必要な経費の 員をおくことに 議会を設け、 問機関としてスポー 次に県や町に教育委員会の諮 施設の一般利用を促進する。 の促進を図る。 事故の防止、 ポ するための措置を講ずる。 功労者の ラカン桂 60 ます。 合せ 90 のことにつ ス 金木犀 平戸つつじ 以上はス 国や町はこの法律に規定す ス 野外活動の強化、 1 青少年のスポ 指導者の充実を図 300 (二)盆栽 大王松 50 ポ ポ ッの振興を図る。 50 65 ました。 1 1 ドラセナ 70 ユッカラン 85 えにしだ 槙 柏 200 ッ技術の水準が 顕彰を行なう。 ッ施設の整備と学校 ひいらぎ 75 大くち無 50 五葉松 250 ポ 70 乙女椿 のりますが また科学的研究 小くち無 40 200 黒 松 260 い 1 町に体育指導委 ひいらぎ南天50 T に役立つこと してい リッ、 7 山茶花(赤)80 ばら 80 ぼけ 90 泰山木 100 町教育委員 振興法の文 スポー 75 1 (白)90 " ŋ こぶし 50 つるばら かい堂 290 ・ツ振興 、ます。 振興審 職場ス (混) 50 70 沈丁花 70 S. Ľ 白木連 250 向上 また 国民 130 其他約10種あり 50 狭竹桃 50 アザレヤ さるすべり " 7 ギの 能談義 経営の 田畑輪換 テ 新し 健康設計 シイ 南米 うなぎの旅 農業共同 森林航測概要 農業経営の進路 日本国憲法失效論 7 島の人生 日本の労使関係 子どもとともに アル 白馬と鹿島槍 槍·穂高 古城をめぐる 山さまざま 東京だより 現代のアフ 現代のヒユ 田園の消息 のどぼとけ念仏 あなたの人生を変える 新しい愛国 秩序ある進歩 不安を越えた人 ふるさとの味、 長生きするための食事 Ľ 肥前やきもの読本 植物の世界 動物と共に 数学の広場 宇宙の探究 地球の構成 日本の社会民主々義 7 7 テ カメラ京ある記 人生は長し ヴエト 1 × × レビと子ども 新 從 アス縦走 ブ Я IJ IJ ~ い酪農の技術と経営 ル の旅 ケ 生 N 物語 カの若者た 力 着 人栽培 - の経済力 Ø か 化の . . ·常念岳 周 y 1 スピ L ラ 心 义 年栽培 方 進め 1 カ 7 母の味 1 7 大町山岳研究会 = * + 石坎拜次 書 Ŧ ズ カン ち 文化財調査会 近藤宏二 酒井佐和子 た 日本山岳会 4 伊藤金次郎 ス博士夫妻 野々村一雄 朝日新聞社 岡倉古志郎 萩原井泉水 毎日新聞社 案 中 斉 岩 鈴 島 藤 片 木 巌 夫 雄 準 上田武大 堀口健二 丸岡 藤本太平 松井 石 黒 敬 七 威 谷口陸男 宇野 深田久弥 串田孫 森 宮地政司 湯浅克衛 務台理作 吉田 吉村貞司 11 11 坪井忠二 清水慎三 小泉信二 内 ちり 秀魁男 洋 明 _ --